

富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	富津市健康づくり推進協議会
2 開催日時	平成27年7月24日(金) 14時30分～16時00分
3 開催場所	富津市役所5階 503会議室
4 審議等事項	(1) 平成26年度事業実績について (2) 平成27年度事業について
5 出席者名	高橋恭市会長、田中治実副会長、渡辺隆二委員、 一戸貞人委員、高梨健二委員、長谷川令子委員、 大野佳志子委員、永井敏子委員、雨笠正昭委員、 山口稔委員、渡邊まさ子委員 磯貝健康福祉部長、赤井健康づくり課長、渡邊国民 健康保険課長、藤寄健康づくり課長補佐、栗本特定 健診推進係長、平野(順)主査、平野(幸)主査、鹿島 主査、圓川総括保健師、石橋主事
6 公開又は非公開の別	公 開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人
9 所管課	健康福祉部健康づくり課
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

富津市健康づくり推進協議会会議録

	発 言 内 容
藤寄係長	・開会の宣言
赤井課長	・委員紹介
	・事務局紹介
藤寄係長	<p>本日の会議の内容は、富津市情報公開条例第23条の規定により公開となる。傍聴人はいない。</p> <p>14名の委員のうち出席者11名で過半数を超えているため、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第2項の規定により会議が成立する。</p>
高橋副市長	挨拶
藤寄係長	富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項の規定により会長が議長となる。
議長	<p>会議録署名人に高梨委員と渡邊委員を指名する。</p> <p>平成26年度事業実績について議題とする。事務局より説明を求める。</p>

赤井課長

平成26年度事業実績報告について説明する。

【健康診査事業】

- ・健康増進法の対象の健康保険未加入者の健康診査

対象者171人 受診者24人 受診率14.0%

- ・若年健康診査 対象者2,375人 受診者558人

受診率 23.5%

若年健診有所見者状況、男性では項目全般にわたり基準値を上回っている割合が高く、また、BMIやALT血糖値、血圧、LDLコレステロールなど、昨年度と比較しても割合が高くなっている。

女性については、LDLコレステロールの値が昨年度と比較しても高くなっている。

なお、特定健診では平成25年、26年継続受診率が78.4%なのに対し、若年健診では44.9%と低めである。

- ・肝炎ウイルス検査 対象者4,050人 受診者665人
受診率16.8%

- ・胃がん検診 受診者768人 受診率4.4%

- ・子宮がん検診のうち、個別検診受診者804人 集団検診受診者268人、受診率8.9%

- ・乳がん検診 個別検診受診者20人 集団検診受診者1,1

73人 受診率10.4%

・肺がん検診 受診者数3,996人 受診率22.8%

・喀たん検査 受診者数85人 受診率40.5%

・大腸がん検診 受診者数1,406人 受診率8.0%

・子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診については、一定の年齢の方に、無料クーポン券を配布し受診を促している。

前年度と比較すると、胃がん検診、大腸がん検診で若干受診率が上昇。しかし、全体的には低い。

検診については、4月の区長回覧にて日程表を全戸に配布、検診月に検診の予定を広報誌に掲載、ホームページ、安心安全メールの配信などの方法により周知を行っている。また、クーポン対象者には個別通知をする。若年健診については、対象年齢の方が集まる会議に出向き、案内をする。保育所・小学校の保護者の集まる催し、成人式、結果説明会などで受診案内を配布するなど受診率向上のため勧奨している。

【予防接種事業】

水痘及び高齢者肺炎球菌感染症の予防接種が26年10月から定期接種となった。

【各種健康教育・健康相談事業】

健康教育は、結果説明会や出前講座を開催。

- ・結果説明会 参加者1, 339人
- ・健康相談 参加者1, 696人
- ・栄養相談 参加者69人
- ・家庭訪問指導人数は延べ1, 126人

【栄養改善事業】

・栄養教室とわくわく栄養教室は、食生活改善推進員と市の管理栄養士との協同で実施。栄養教室とわくわく栄養教室を併せ、22回の開催で、延べ364人の参加があった。

・推進員活動支援 産業まつりなどでの活動支援71回実施、延べ539人の参加があった。

・食生活改善事業 市民を対象に4回実施、延べ433人の参加があった。

・食育教室 4回実施 延べ77人の参加

【母子保健事業】

・妊婦の栄養、離乳食などの食に関する教室を行った。

・妊婦乳児健康診査事業 妊婦健診14回、延べ2, 582人が受診 乳児健診2回、延べ307人が受診

・1歳6か月児健康診査 受診者217人 受診率86.1%
11回実施

	<p>・ 3歳児健康診査 受診者190人 受診率88.4%</p> <p>12回実施</p> <p>・ 家庭訪問妊産婦 延べ350人、新生児139人、乳幼児224人</p> <p>【献血事業】</p> <p>200ml 献血181人、400ml 献血1,050人の協力があった。</p> <p>【自殺対策事業】</p> <p>自殺予防の啓発を行った。自殺予防週間に庁舎に懸垂幕を掲示、自殺予防の啓発物資をイベント会場や各種健診会場で配布、相談窓口をホームページで公開し周知した。</p> <p>以上で説明を終わる。</p> <p>議長 国保特定健診実施状況の説明をお願いします。</p> <p>渡邊課長 国民健康保険課特定健診推進係の平成26年度の特定健康診査等事業実績について報告する。</p> <p>事業目的は、「被保険者の健康の保持増進と医療保険制度を安定的に存続させるため『高齢者の医療の確保に関する法律』</p>
--	---

の規定により医療保険者に義務付けられた」もので『第二期特定健診等実施計画』に基づいて実施している。事業内容は、「特定健康診査事業」と「特定保健指導事業」。特定健診は、糖尿病等の生活習慣病予防のためにメタボリックシンドロームに着目したもので、40歳以上74歳までの被保険者を対象に、集団健診方式と個別健診方式で実施している。国の必須項目のみでなく糖尿病や慢性腎臓病等の予防のために、項目を追加して実施している。実施時期は、5月から8月。自己負担額は500円で、70歳以上や非課税世帯の方は無料となっている。

特定保健指導は、動機付け支援・積極的支援に該当する方々に実施する保健指導。

事業結果は、特定健康診査については受診率は45.04%。平成25年度確定値は44.8%で若干伸びている。第二期における最終年度の目標値は60%のため、引き続き受診率向上に努める。未受診者対策としては、地区の総会や保育所、消防団等に対して受診勧奨説明会を実施。また40歳になる方、40歳代から50歳代の未受診者に対して夜間・休日の家庭訪問を実施している。特定保健指導については目標値60%のところ、65.11%と目標を達成した。今年の特健診、特定保健指導の受診率が確定するのは11月頃だが今後とも計画に

	<p>沿って事業を実施していく。また、平成26年度に国民健康保険法に基づく保険事業の実施に関する指針に沿って保険事業実施計画、データヘルス計画を策定した。この計画は糖尿病等の生活習慣病を予防し、医療費の適正化の視点で医療情報を活用した事業を実施するためのもので、平成29年度までの期間となっている。富津市国民健康保険は県内でも医療費が高いことから、心筋梗塞、脳卒中、慢性腎不全など予防可能な生活習慣病を予防して医療費の適正に繋がるように事業を実施していく。以上で説明を終わる。</p>
議長	<p>これより質疑に入る。質問、意見等あるか。</p>
一戸委員	<p>2点伺いたい。1つ目は予防接種事業の実績で麻疹風疹1期、2期の接種率が低い。95%が目標で、それを達成すれば地域の集団発生もなくなると一般的には言われている。この数値は県内でも下位のほうになる。接種率が低いのはなぜか。</p>
平野幸主査	<p>富津市は個人通知を1歳になった段階でしている。さらに1歳6ヶ月健診もあるため、その時点でもチェックをして未接種者に対して接種勧奨をしているが接種率は低い。中には第2</p>

	<p>子、第3子を妊娠中であり、接種に行けなかった方もいる。その方たちは自費でも接種をするという返事が返ってくるため接種していると思うが、この低い接種率の状態を目標値まで上げることは当然なので、今後は通知をするときに内容を修正し、すぐに接種しなければいけないというイメージを持たせなければいけないと思う。</p>
<p>一戸委員</p>	<p>2つ目に若年健診だが、市独自の事業として評価されるべきだが、有所見者が多い。これに対する対策、啓発等はどういうことをされているのか。また受診継続率が低い、継続されている方に対しての効果はあったのか聞きたい。</p>
<p>鹿島主査</p>	<p>受診者には健診データから体の状態がイメージでき、食や活動などの生活の実態と関連していることを理解していただけるように、できるだけ説明の機会を作っている。平成26年度若年健診受診者558人のうち、訪問46人、個別面接187人、集団の結果説明会155人、発症予防のためにどうしても会いたいが会えない方には、電話で28人、約75%に説明を実施した。このことで、体の異常に気づき、生活を見直したことで改善が早い項目は即結果に表れているが、高血圧や高血糖</p>

などは、医療受診につなげる難しさや長期的な生活改善支援の必要性があると考え、今後も継続的に取り組むことが重要と考えている。

継続受診者が少ないことについては、昨年、教育長からの質問もあり、調べた結果、国保特定健診に比べると低い結果だった。しかし、特定健診は、法律で定められている健診で、母集団もはっきりしており、未受診者の受診勧奨訪問も積極的に実施できている。しかし、若年健診は勤務先や健診の実施状況等の把握が難しく、母集団がはっきりしていないため、受診勧奨も難しい状況である。しかし、初回受診者の中には健診結果の悪い方が多く見付き、今後継続的に健診受診をしていただく必要性が高く、今後も受診数増加や継続受診率を高めていく取り組みは重要と考えている。これらのことから、若年健診の目的を、生活習慣病のリスクの高い方には、早期に体の異常を知っていただくこと、そして早くから生活を見直し、若いうちから健康管理して発症予防をしていただくための重要な事業と考えている。ここで、若年健診の意義を考えていただく機会として、少し時間をいただきたい。富津市は県下で透析受療率は1位であり、富津市としては出来るだけ重症化予防対策を強化していく必要がある。

富津市の透析受療者は、80人。うち30歳代8人、40歳代14人。さらに生活習慣病が原因疾患の方は、30歳代で8人中2人。40歳代は14人中6人となる。生活習慣病からの透析は、予防が可能だったと考える。ここで1つ事例を紹介したいと思う。

【事例の紹介】

長期にわたり高血圧や糖尿病が悪い状態が続き、透析になっていった家系。特定健診を受診したが、すでに腎機能が悪い状態だった。透析を何年か先送りできたが、透析導入となってしまった。3家族にそれぞれ、地区担当の保健師が関わったが、後に同じ家系であることがわかった。高血圧や糖尿病など生活習慣病を悪化させたことが、腎機能の低下につながる家系と考え、それぞれの家族の成人された子供に、若年健診を受けてもらい、生活習慣病の発症予防、重症化予防をしてもらっている。他にも、妊娠中は年をとった時の自身の体の弱さを反映してくれることから、2ヶ月児訪問にて、母子手帳から妊婦健診の結果を母と一緒に確認し、若年健診の受診勧奨を行っている。妊婦健診にて血圧や血糖が高くなるなど異常のあった方が今のところ約300人いる。このように、生活習慣病の家族歴を持つ可能性のある方たちにとって、若いうちから体の状態を確認

	<p>する機会である若年健診は、将来の生活習慣病の発症予防や腎臓機能の悪化や脳、心血管疾患などの重症化予防につながる。</p> <p>富津市は財政難から、若年健診の存続が危ぶまれている。このような活動をご理解の上、推進員の皆様には若年健診の必要性のご支援をお願いしたい。</p>
議長	他に質問等あるか。
渡邊委員	<p>26年度事業について説明があったが、説明した文章をいただけないか。スポーツ推進員の事業として、市民の健康増進のために活動しているが、例えば推進員でこの情報を共有できれば有効な指導ができる。また、乳幼児健診について受診をされていない方たちにはどのような対応をしているか知りたい。</p>
赤井課長	資料をお渡しすることはできると思うが、後日相談させていただきたい。
圓川総括 保健師	<p>乳幼児健診についてだが、健診の該当月に来られない場合は電話勧奨、はがき勧奨をしている。2ヶ月程度該当月から来られない場合は、地区の担当保健師が訪問させてもらっている。</p>

	<p>また、資料に記載されている受診率については勧奨、訪問の実績が入っていない。この部分も含めると、ほぼ100%の受診率になる。</p>
議長	<p>他に質問等あるか。</p>
山口委員	<p>地区別に特定健診の利用度、健康度など分析はされているか。</p>
栗本係長	<p>平成25年10月に国保連合会からシステムが入ったため、可能であるが検討させていただきたい。</p>
議長	<p>他にないようなので、次に平成27年度事業について議題とする。事務局の説明を求める。</p>
赤井課長	<p>平成27年度事業について説明する。</p> <p>【健康増進事業】</p> <p>健康増進法に基づく生活保護受給者の健康診査、及び若年健康診査を実施。また、肝炎ウイルス検診、健康診査後の健康相談、健康教育訪問指導等を行う。予算額7,450,000円。</p>

【母子保健事業】

母子の健康保持増進を図る健康診査、保健指導を実施。

予算額 26,416,000 円

【予防接種事業】

感染症の流行を予防し、市民の健康維持を図る。

予算額 82,541,000 円

【がん検診事業】

がんによる死亡者数減少のため各種がん検診を実施し、がんの早期発見に努めると共に、受診率の向上に努める。子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診の該当年齢の方を対象に無料クーポン券の配布を実施。予算額 27,281,000 円

【栄養改善事業】

市民の健康増進のため、各種健康づくり教室や栄養相談を開催し、生活習慣の改善指導を行う。予算額 323,000 円

【献血事業】

献血思想の周知と献血の推進を図る。予算額 52,000 円

【地域自殺対策緊急強化基金事業】

自殺者の減少のために、身近な人の自殺の兆候を見逃さず、相談窓口等へつなげ、地域で見守るといった取り組みができるよう啓発等をする。予算額 582,000 円

<p>渡邊課長</p>	<p>【健康づくり推進協議会事業】</p> <p>保健計画の策定と進行管理を協議検討する。</p> <p>予算額 36,000 円</p> <p>【休日在宅当番医事業】</p> <p>地元医師会、歯科医師会の協力で実施。</p> <p>予算額 2,050,000 円</p> <p>【君津中央病院負担金】</p> <p>君津地域 4 市を構成団体として運営。医療施設、医療内容の充実を図るなどのための病院運営負担金。</p> <p>予算額 256,014,000 円</p> <p>【市町村圏事務組合負担金】</p> <p>君津郡市夜間救急診療所の設置や休日夜間に入院を必要とする患者のための二次待機施設の運営費負担金。</p> <p>予算額 31,131,000 円</p> <p>以上で説明を終わる。</p> <p>国民健康保険課特定健診係の平成 27 年度の特定健康診査等事業について説明する。</p> <p>特定健康診査の目標は第二次特定健診等実施計画に沿って目標は 52% となっている。健診は 8 月で終わるが、未受診者</p>
-------------	--

	<p>を対象に10月に追加健診を予定している。健康管理のため健診を活用していただき受診率の向上に向けて引き続き取り組んでいく。特定保健指導の目標値は60%であり、糖尿病等の生活習慣病の重症化予防への取り組みも進めていく。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
議長	<p>質問等あるか。</p>
山口委員	<p>自殺対策事業について、富津市内で26年度の自殺者はどのくらいいたか。</p>
赤井課長	<p>10名ほどいた。</p>
議長	<p>他にないようなので、以上で平成27年度富津市健康づくり推進協議会を閉会する。</p>